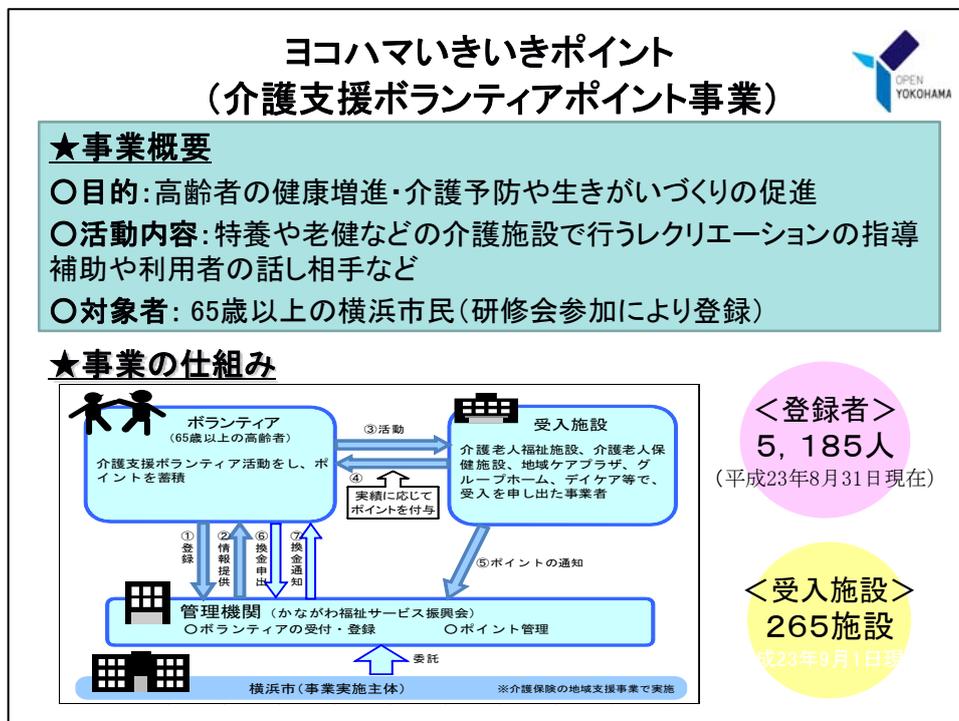


○「ヨコハマいきいきポイント」

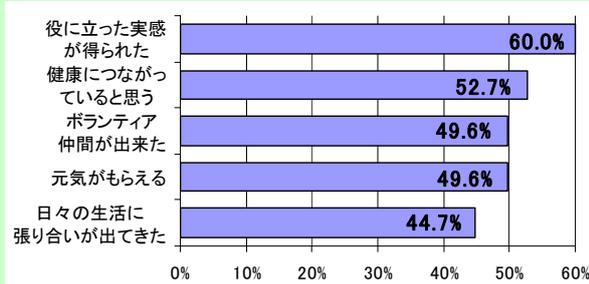
これらの戦略のなかで、「地域貢献活動への参加支援」の仕組みの一つとして、「ヨコハマいきいきポイント」という介護支援ボランティアポイント事業に取り組んでいます。事業概要としては、高齢者の健康増進・介護予防や生きがいの促進を目的に、65歳以上の横浜市民が、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設で行うレクリエーションの指導補助や利用者の話し相手などへのボランティア活動を行うものです。これは、登録団体に登録して実際に活動しますと、1回の活動で200ポイントを差し上げるという事業です。1,000ポイント以上貯まると、1ポイント1円で換金寄付することができ、年間最大8,000ポイント、つまり8,000円まで換金できる仕組みです。平成21(2009)年10月からスタートしていますが、現在、登録者数が5,185人で、昨年1年間で2,400人ほどの登録がありました。これを見ても、市民の皆様の力を非常に実感することができます。



登録している人からは、「役に立った実感が得られた」、「健康に繋がると思う」、「ボランティア仲間ができた」、「元気がもらえる」、「日々の生活に張り合いができた」といった感想をいただいております。

～登録者の声～

Q. 活動をして良かったことは？ (n=1,829、複数回答可)



＜実施中＞(2都市)

- ・横浜市 (H21.10～)
- ・相模原市 (H22.10～、登録者数: 426人)

＜検討中＞(8都市)

- ・札幌市
- ・仙台市
- ・大阪市
- ・さいたま市
- ・北九州市
- ・新潟市
- ・浜松市
- ・千葉市

＜実施予定なし＞(9都市)

- ・川崎市
- ・静岡市
- ・広島市
- ・福岡市
- ・名古屋市
- ・神戸市
- ・岡山市
- ・京都市
- ・堺市

○高齢者のための住まいへの取り組み

もう1つは、住まいへの取り組みです。現在、「横浜型高齢者向け住まい」として、市有地貸与等により民間企業等がコストを抑えて新しい住まいを整備する取り組みを行っています。市が市有地を貸与することによる効果としては、厚生年金をいただいている方たちが無理なく、入居費用を用意できることがあります。内容としては、高齢者の皆様に加え、子育て世代の皆様にも住んでいただき、中には交流スペースを設けて、訪問介護・看護、通所介護等の事業所にテナントとして入っていただき、そこで多世代交流等を行いながら、ケアが必要になっても住まい続けられる住まいを創出していこうという取組です。これは今年度から始めました。

横浜型高齢者向け住まい(仮称)

市有地貸与等により民間企業等がコストを抑え新たな住まいを整備

